

第 4 回計画（案）に対する 意見について

第 4 回境港市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会

第4回計画（案）に対する意見 及び その対応

提出 番号	意 見 (要 旨)	対 応
1	<p>P20 ～21</p> <p>地域包括支援センターの働きは重要で、構成員の人数は不足しないようにしてほしい。</p>	<p>「地域包括支援センターの機能強化」の項目については、拡充↑することとしておりますが、これは、人員体制の見直しを含めたものです。</p> <p>業務量を考慮した人員配置に努めます。</p> <p style="text-align: right;">※ 計画書の修正・追加は行いません。</p>
	<p>P23</p> <p>健康教育事業は身近な場所で開催されることが望ましい。</p> <p>「ふれあいの家」でも専門家を招いての健康教室は出席率が高い。</p> <p>また、援助員のスキルアップのための研修が2・3年前に比べて減少しているように思えるのですが、実情はどうでしょうか。</p>	<p>健康教育は、対象者が市民全体である場合には保健相談センターで、地区住民である場合には公民館で、各団体からの要望には、団体が指定する場所で実施しています。</p> <p>集会所等で地域の方々に実施していただく「ふれあいの家」にも、長寿社会課の保健師が計画的に参加させていただいておりますが、第7期計画においても、引き続き参加させていただく予定です。</p> <p>「ふれあいの家」は、市社会福祉協議会と市が協力して実施しておりますが、援助員のスキルアップについては、市社会福祉協議会に担当していただいております。</p> <p>年2回の献立講習会の他、以前は2月に1回、援助員対象の講座を開催していましたが、参加者が非常に少ないため、ナマステホールで開催する県外講師による年1回の講座に集約した経緯があります。</p> <p>援助員さんの参加が見込めれば、地区ごとでの講習会等についても再度検討するとのことでした。</p> <p style="text-align: right;">※ 計画書の修正・追加は行いません。</p>

